

科目名	地域社会学特殊研究			ナンバリング	857095	授業形態	講義
対象学年	1・2	開講時期	通年	科目分類	選択	単位数	4 単位
代表教員	高木竜輔	担当教員					

授業の概要	本講義では都市・地域に関する基本的な文献を講読することを通じて、地域社会を分析するための基本的な枠組みと分析手法を理解することを目指す。本年度は「構造分析の可能性」と題し、日本の地域社会学の古典的研究を一年かけて読んでいくこととする。そのことを通じて、自らの修士論文への応用を模索していくことを目標とする。						
到達目標	1. 地域社会学における構造分析について、その基本的概念と方法について理解することができる。 2. 構造分析の手法について、自らの修士論文の執筆において利用することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	各授業において、教科書の関連する箇所を事前に読んでおくこと。授業終了後は、授業を振り返ってポイントを整理しておくこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【人文学研究科 社会学専攻(修士課程)のディプロマポリシー】						
	○	1. 社会学の専門領域について高度な知識を有している。					
	○	2. 問題設定、解決能力を持ち社会科学的視点で分析、判断する能力を持つことができる。					
	○	3. 社会的事実を科学的、論理的、実証的に研究、分析する能力を持つことができる。					
	○	4. 研究を通して培った論理的な思考力と表現力を実社会で活用し社会貢献ができる。					
	○	5. 各自の研究成果を、修士学位論文にまとめ上げることができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 構造分析に関する基本的な概念を理解することができる。 2. 構造分析の概念理解を踏まえた上で、それに基づいて現実の地域社会の分析をおこなうことができる。	1. 構造分析に関する基本的な概念を理解することができ、それを踏まえて関連する論文を読みこなすことができる。 2. 構造分析の概念理解を踏まえた上で、それに基づいて実証的論文を執筆することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
最終レポート	○	○	○	○	○		70%
小テスト・授業内レポート		○	○	○			30%
出席			○	○			加点はしない。欠席は減点となる。

課題、評価のフィードバック	1. 授業ごとにリアクションペーパーを書いてもらう。疑問点や感想を書いてもらい、次週の授業でコメントする。 2. 学期末レポートについては、コメントをつけて返却する。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第16回	前期の議論のおさらい	前期におこなった議論を再確認することができる。	
	第17回	『地域開発の構想と現実Ⅲ』講読(1)	『地域開発の構想と現実Ⅲ』の序章を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第18回	『地域開発の構想と現実Ⅲ』講読(2)	『地域開発の構想と現実Ⅲ』のⅠ部1章を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第19回	『地域開発の構想と現実Ⅲ』講読(3)	『地域開発の構想と現実Ⅲ』のⅠ部2章を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第20回	『地域開発の構想と現実Ⅲ』講読(4)	『地域開発の構想と現実Ⅲ』のⅠ部3章を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第21回	『地域開発の構想と現実Ⅲ』講読(5)	『地域開発の構想と現実Ⅲ』のⅡ部2章を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第22回	『地域開発の構想と現実Ⅲ』講読(6)	『地域開発の構想と現実Ⅲ』のⅡ部3章を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第23回	構造分析を考える(1)	これまでの議論を振り返り、構造分析の方法論について論点を整理することができる。	
	第24回	構造分析を考える(2)	これまでの議論を振り返り、構造分析の方法論について論点を整理することができる。	
	第25回	「いわき市」の構造分析(1)	これまで学んだことを踏まえて、いわき市の構造分析を実施するために、データを整理することができる。	
	第26回	「いわき市」の構造分析(2)	これまで学んだことを踏まえて、いわき市の構造分析を実施するために、データを整理することができる。	
	第27回	「いわき市」の構造分析(3)	これまで学んだことを踏まえて、いわき市の構造分析を実施するために、データを整理することができる。	
	第28回	「いわき市」の構造分析(4)	これまで学んだことを踏まえて、いわき市の構造分析を実施するために、データを整理することができる。	
	第29回	「いわき市」の構造分析(5)	いわき市の構造分析について、レポートを執筆する。	
	第30回	「いわき市」の構造分析(6)	いわき市の構造分析について、レポートを執筆する。	
	試験	試験はしない。		
授業の進め方		基本的に輪読をし、それに対する質疑応答をおこなう。		
授業外学習の指示		文献講読については事前に本を読み、コメントと質問内容を確認しておくこと。 演習終了後は授業における議論の内容を振り返り、その上でもう一度当該章を読み返すこと。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	福武直編, 1965, 『地域開発の構想と現実Ⅰ』東京大学出版会. 福武直編, 1965, 『地域開発の構想と現実Ⅱ』東京大学出版会. 福武直編, 1965, 『地域開発の構想と現実Ⅲ』東京大学出版会.
参考書	特に使用しない。
参考URLなど	適宜、個別指導に応じて伝える。
その他	

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	イントロダクション	講義の進め方、受講に際しての注意点について理解する。授業支援システムの使い方について理解できる。	
	第2回	『地域開発の構想と現実Ⅰ』講読(1)	『地域開発の構想と現実Ⅰ』の序章を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第3回	『地域開発の構想と現実Ⅰ』講読(2)	『地域開発の構想と現実Ⅰ』の1章前半を読み、この章における分析内容について理解し、説明することができる。	
	第4回	『地域開発の構想と現実Ⅰ』講読(3)	『地域開発の構想と現実Ⅰ』の1章後半を読み、この章における分析内容について理解し、説明することができる。	
	第5回	『地域開発の構想と現実Ⅰ』講読(4)	『地域開発の構想と現実Ⅰ』の2章前半を読み、この章における分析内容について理解し、説明することができる。	
	第6回	『地域開発の構想と現実Ⅰ』講読(5)	『地域開発の構想と現実Ⅰ』の2章後半を読み、この章における分析内容について理解し、説明することができる。	
	第7回	『地域開発の構想と現実Ⅰ』講読(6)	『地域開発の構想と現実Ⅰ』の3章を読み、この章における分析内容について理解し、説明することができる。	
	第8回	『地域開発の構想と現実Ⅰ』講読(7)	『地域開発の構想と現実Ⅰ』の4章を読み、この章における分析内容について理解し、説明することができる。	
	第9回	『地域開発の構想と現実Ⅰ』講読(8)	これまでの講義内容を振り返り、内容について理解し、説明することができる。	
	第10回	『地域開発の構想と現実Ⅱ』講読(1)	『地域開発の構想と現実Ⅱ』の1章前半を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第11回	『地域開発の構想と現実Ⅱ』講読(2)	『地域開発の構想と現実Ⅱ』の1章後半を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第12回	『地域開発の構想と現実Ⅱ』講読(3)	『地域開発の構想と現実Ⅱ』の2章前半を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第13回	『地域開発の構想と現実Ⅱ』講読(4)	『地域開発の構想と現実Ⅱ』の2章後半を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第14回	『地域開発の構想と現実Ⅱ』講読(5)	『地域開発の構想と現実Ⅱ』の3章を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	第15回	『地域開発の構想と現実Ⅱ』講読(6)	『地域開発の構想と現実Ⅱ』の4章を読み、この本の問題関心と分析枠組みについて理解し、説明することができる。	
	試験	試験は実施しない。		